

1. 内視鏡手術用支援機器を用いた手術に対する麻酔



近年適応が増大しつつあるロボット支援下手術に対応するため、当院手術室では合計3台（2024年10月より）のda Vinciサージカルシステムを採用しております。当科でも対応した麻酔管理を提供することで、これらを効率よく運用し、各科の要請に応えられるような体制づくりを行っております。

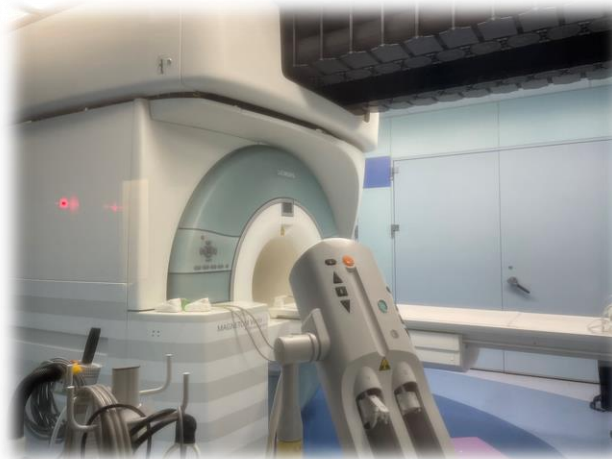
2. ハイブリッド手術室を用いた手術に対する麻酔



脳神経外科領域における血管内治療や、循環器内科における経カテーテル的大動脈弁置換術

（TAVI）、経皮的僧帽弁クリップ術（MitraClip®）、経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN™）など、より低侵襲の治療の普及が進んでいます。当院手術室では、手術室とカテーテル室を組み合わせたハイブリッド手術室を用いてこれらの治療に対応しており、当科でもそれらに対応した麻酔管理を提供しております。

3. 術中MRI撮影を用いた手術に対する麻酔



主に脳神経外科領域では、手術中あるいは手術終了時点でのMRI撮影を行うことで、より高品質な手術が可能となります。当院手術室では高精度撮影が可能な術中MRIに対応した手術室を用意しており、当科でもそれに対応した麻酔管理を提供しております。

4. ペインクリニック

ペインクリニック領域では、痛みをお持ちの患者さんに対して外来あるいは入院での適切な治療を提供しております。

- ・ パルス高周波法を用いた神経ブロック 間歇的な高周波を用いて神経の機能を抑制することにより、神経そのものを破壊することなく比較的長期間にわたって痛みをとることが可能な治療法です。当科でも、従来からの高周波熱凝固法に加えてパルス高周波法による痛みの治療に対応しております。
- ・ がんによる痛みをお持ちの患者さんに対する神経ブロック 難渋するがんの痛みに対しては、薬物療法とともに神経ブロックを中心とした痛みの治療が適応となる場合があります。当科では緩和ケアチームとも協力して、がんの痛みに対する多角的な治療を提供しております。